

中島忠平漆器店

創業明治5年（西暦1872年）塗師 初代忠平（岩松）を号し創業。

代々継承される忠平として、輪島塗の本質である素材・布着・地の粉下地にこだわりを持ち続けます。

6代目忠平も伝統工芸士であった5代目より受け継いだ長い歴史の中で培われた伝統工芸の技術をしっかりとしり続け、世代を超えて受け継がれる品を製作しています。

① ～ぐい呑み～

春秋の彫詰を金箔で施したぐい呑み。お酒を注ぐと桜や紅葉の模様が煌めき、唇に優しい柔らかな口当たりと共に、五感でお楽しみいただけます。



② ～ブレスレット～

沈金や蒔絵を施したブレスレット。輪島塗の伝統技法、布着せ本堅地で製作しました。軽いので幅広いシチュエーションでお使いいただけます。